

豊かな実績・確かな信頼

Manol[®]

JIS-A-6916 C2 規格適合品

下地調整用プレミックスポリマーセメントモルタル

マノールカチオンセット シリーズ

接着しにくい各種下地の改装・修復工事に

| 種類 (呼び名) 〈マノール製品名〉 | 標準塗厚 (mm) | 主な適用仕上材 | 主な適用仕上材 | 施行方法 |
|---|--------------|---|---|------|
| セメント下地調整塗材2種 (下地調整塗材C-2) 〈カチオンセット〉 | 1~3 | <ul style="list-style-type: none">● コンクリート● モルタル● 陶器・磁器質タイル● 鉄板・合板● エポキシ樹脂● ウレタン樹脂● 複層塗材● 大理石等 | <ul style="list-style-type: none">● すべての仕上塗材● 塗料 | コテ塗り |
| セメント下地調整塗材2種 (下地調整塗材C-2) 〈カチオンパウダー〉 | 1~3 | <ul style="list-style-type: none">● コンクリート● モルタル● 陶器・磁器質タイル● 鉄板・合板● エポキシ樹脂● ウレタン樹脂● 複層塗材等 | <ul style="list-style-type: none">● すべての仕上塗材● 塗料 | コテ塗り |

日本建築仕上材工業会登録

| | | |
|--------------|---|----------|
| 製品名 | カチオンセット | カチオンパウダー |
| 登録番号 | 0307332 | 0808008 |
| 放散等級 区分表示 | F☆☆☆☆ | |
| 問合せ先 | http://www.nsk-web.org/ | |



株式会社 **マノール**[®]

下地調整用プレミックスポリマーセメントモルタル

マノールカチオンセット

シリーズ

マノールカチオンセットシリーズは、プレミックスモルタルとアクリルエマルジョン（カチオン系）をセットしたマノールカチオンセットと、水で練るだけの粉末アクリルカチオン性樹脂を配合した一材型のマノールカチオンパウダーの2種類があります。尚、2種類ともJIS-A-6916（仕上塗材用下地調整塗材）の性能試験に合格したポリマーセメントモルタル（樹脂モルタル）です。

特長

- 各種の下地に強力な接着力を発揮します。
- 既調合セット品なので高品質で使用が簡単です。
- 耐水性に優れていますので防水・防湿箇所にも有効です。
- 防錆力・中性化防止にも優れています。
- 乾燥による収縮がほとんどなく、ひび割れしにくい。

用途

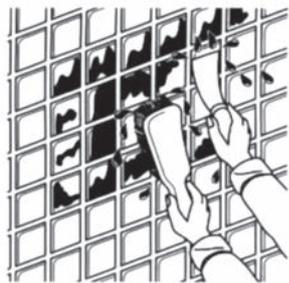
- コンクリート、モルタル、ALC、PCの補修。
- ウレタン、防水シート、アスファルト等防水層の下地調整。
- 陶磁器タイル、ガラス、合板等の被覆接着。
- 鉄板、カラー鉄板面の防錆被覆接着。

荷姿・性状



| 種 類 | マノールカチオンセット | | マノールカチオンパウダー |
|------------|-------------------|---------------------|-------------------------------|
| | 粉 体 | 接着強化液=3.5kg | 粉 体 |
| 内 容 | | | |
| 主成分 | プレミックス粉体 | カチオンアクリル系 エマルジョン | プレミックス粉体 (アクリルカチオン系粉体樹脂配合) |
| 質 量 | 17kg | 3.5kg | 10kg |
| 荷 姿 | 20.5kg/セット | | 10kg袋×2/箱 |
| 練り上がり量 | 10(ℓ) | | 6.5(ℓ) ※10kgの場合 |
| 施工面積(1mm厚) | 約10m ² | | 約6.5m ² |

1) 下地処理

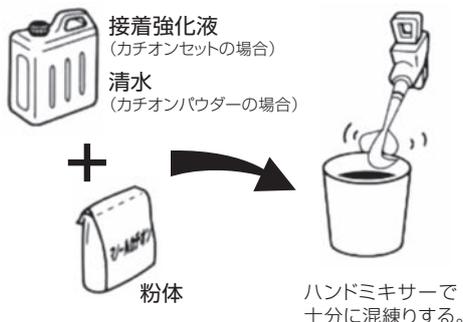


皮スキ・ブラシでケレン・清掃する。

- ① 下地の汚れ、付着物、レイトンス等は皮スキ・ブラシ等でケレン除去、または水洗いする。
- ② 浮き部分及び劣化部分は、はつり除去する。
- ③ 必要に応じて施工範囲の割付を行ってください。
- ④ 乾燥した下地には、水しめしを行う。

※下地の吸水が激しい場合は吸収調整材としてマノールアクリットの3~5倍液を塗布して下さい。

2) 混練



- ① 粉体と接着強化液または清水を所定の調合比で練り容器に入れ、ハンドミキサーで十分に練り混ぜる。
- ② マノールカチオンセットシリーズの標準調合

| カチオンセット | | カチオンパウダー | |
|---------|-----------|----------|--------|
| 粉体(kg) | 接着強化液(kg) | 粉体(kg) | 清水(kg) |
| 17 | 3.0~3.5 | 10 | 1.5 |

3) 塗付け



コテで「しごき塗り」する。

- ① 混練したマノールカチオンセットシリーズは、下地にコテで「しごき塗り」の要領で塗付ける。(塗厚=1~3mm)
※特に夏場施工の場合はすぐにウス皮が張る場合がありますが、皮を破るように揉み込むように塗付けて下さい。
- ② 塗付け後の養生時間は、夏期は1週間以上、冬期は2週間以上とする。

下地調整塗り完了

使用上の注意

- 下地が、アルミニウム、ステンレス、ポリエステル、FRP、亜鉛メッキ及び、軟質下地面等の場合は、十分な接着力が得られませんので使用を避けてください。
- 下地のレイトンス、ゴミ、油類等は、完全に除去、清掃し前日に水洗いしてください。
- 接着強化液は、水で薄めないで使用してください。
- 練り置き後の使用は、避けてください。
- 気温が5℃以下での使用は避けてください。
- 1回の塗厚は3mm以内としてください。
- 下地が鉄板や鉄部で、錆が発生している場合又は錆止塗料や一般塗料が塗布されている場合は、ワイヤーブラシ・サンダー掛け等で、錆や塗料を十分に除去して下さい。

性能試験値(標準調合による)

| 項目 | | 種類 | カチオンセット | カチオンパウダー | 品質基準 (JIS-A-6916 C2) |
|------------------------------|-------|----|---------|----------|-----------------------------------|
| 軟度変化(%) | | | 2.1 | 3.1 | ±2.0以下 |
| 耐ひび割れ性 | | | 合格 | 合格 | ひび割れがないこと |
| 耐衝撃性 | | | 合格 | 合格 | ひび割れ剥がれがないこと |
| 付着強さ (N/mm ²) | 標準養生時 | | 2.4 | 2.4 | 1.0以上 |
| | 低温養生時 | | 2.0 | 1.8 | 0.7以上 |
| 吸水量(g) | | | 0.3 | 0.8 | 1.0以上 |
| 耐久性 (N/mm ²) | 表面状態 | | 合格 | 合格 | 割れ、膨れ及び剥がれがなく、 付着強さが1.0以上であること |
| | 付着強さ | | 2.4 | 1.0 | |

(財)ベターリビング 試験成績書 第974900号(カチオンセット) 第045980号(カチオンパウダー)

標準調合と強さ試験結果

| 項目 | | 種類 | カチオンセット | カチオンパウダー |
|------------------------------|-------|----|------------------------|---------------------|
| 標準調合 | | | 粉体 17kg 接着強化液 3.5kg | 粉体 10kg 清水 1.5kg |
| フロー値 (mm) | 直後 | | 160 | 160 |
| | 60分後 | | 157 | 155 |
| 曲げ強さ (N/mm ²) | 材令7日 | | 5.5 | 5.0 |
| | 材令28日 | | 8.0 | 7.0 |
| 圧縮強さ (N/mm ²) | 材令7日 | | 22.0 | 18.0 |
| | 材令28日 | | 35.0 | 24.0 |

各種下地との付着力試験結果

| 下地の種類 | 種類 | | 付着力(N/mm ²) | |
|-------------|---------|----------|-------------------------|----------|
| | カチオンセット | カチオンパウダー | カチオンセット | カチオンパウダー |
| コンクリート | 2.4 | 1.8 | | |
| 鉄板(磨き鉄板) | 2.3 | 1.2 | | |
| ウレタン塗膜 | 0.8 | 1.0 | | |
| 磁器タイル | 1.8 | 1.3 | | |
| 陶器質タイル | 1.6 | 1.3 | | |
| 合板 | 0.8 | 0.8 | | |
| エポキシ床材 | 2.0 | 1.9 | | |
| ALC材 | 0.7 | 0.7 | | |
| 複層塗材(アクリル系) | 1.0 | 1.0 | | |
| ガラス板 | 1.7 | 1.7 | | |

塗厚=2mm厚

注意事項

(施工上の注意)

- 現場での砂、セメント等の混入は避けてください。
- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な養生を行ってください。
- 施工中及び施工後、降雨、降雪の予想される場合は施工を中止してください。
- 硬化時間は、水温、気温、保管状態により異なりますので、ご注意ください。

(取扱い上の注意)

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所に行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

(応急処置)

- ★目に入った場合:直ちに多量の水で洗顔を、医師の診断を受けてください。
- ★皮膚に付着した場合:直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ★誤飲した場合:多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けてください。

(保管上の注意)

- 粉体は吸湿性が有りますので湿気厳禁で保管してください。
- 混和液は、直射日光を避けて保管してください。
- 6ヶ月以内にご使用ください。

(その他の注意事項)

- 輸送時、落下、転倒、破損等がないように荷崩れの防止を行ってください。
- 破棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
- 粉体が混合した排水は、中和、希釈等を行ってください。
- 混和液は、海、河川、湖沼、池、下水道等へ流入すると汚濁汚染することになるので絶対に破棄しないでください。



本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店